

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会
社会水文学小委員会
(第25期・第2回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年4月27日(火) 10:00~12:00

2. 会 場 遠隔会議

3. 議 題

(1) 前回議事録の確認

✓ 前回議事録の確認を行った.

(2) 今後の開催日程及び研究報告担当者の決定

✓ 今後の開催日程及び研究報告者の担当について委員長より提案があり, 了承された.

✓ 研究報告者の順番は以下の通りである.

✓ 4月27日 水 13:00 報告: 坂本、中村

✓ 5月13日 金 15:00 報告: 小森、檜山

✓ 6月8日 水 13:00 報告: 橋本、飯泉

✓ 7月8日 金 13:00 報告: 沖、千葉

✓ 8月30日 火 10:30 報告: 高橋、吉田

✓ 9月10日(土)-12日(月) 論文合宿@岐阜

(3) 中村委員からの研究報告

✓ 中村委員から「歴史学と治水からみた社会水文学」と題してテーマ3とテーマ4に関する報告があり, 内容について議論を行なった.

✓ 議論では, 日本の大水害が社会水文モデルによって説明されるか, 洪水への記憶などの数値化の必要性, 実際の水害後の定住継続の状況(モデルと実際のギャップ)について質問と意見が挙げられた.

(4) 坂本委員からの研究報告

✓ 坂本委員からテーマ1に関する報告があり, シリアスゲームの事例, 個人属性に関する Ultimatum game, Dictator game, Trust Game について解説をいただいた. 合わせて, 共感力に関する既往研究の紹介があった.

✓ 議論では特にゲーム手法とゲームの主体, 目的について質問と意見が出た. 特に既往研究における目的の明確化が今後の議論の課題であることが浮き彫りとなった.

(5) 最終成果の取りまとめについて

- ✓ 今後継続して議論を行うことを確認した。

(6) その他

- ✓ 地球・人間圏分科会から①第3フェーズで一般公開シンポジウムを開催してもいいのではないかと、②「学術の動向」にも何かしら報告が掲載できれば素晴らしいが、無理ない範囲で検討いただきたいとの意見があったことが小森委員より報告があった。シンポジウムは2023年8月頃に開催し、成果発表は「学術の動向」に限らず適切な候補媒体を検討することとなった。

4. 配布資料：なし

以上